

高病原性鳥インフルエンザウイルス確認に伴う 野鳥監視重点区域の解除について

1 概要

令和7年11月14日に、矢吹町西長峰地内において回収した死亡野鳥（オオハクチョウ1羽）から高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）が確認されたことに伴い、野鳥監視重点区域（死亡野鳥回収地点から周辺10km圏内）において、野鳥監視の強化をしてまいりましたが、その後、当該区域内での異常は確認されなかったため、12月12日24時に当該区域が解除されました。

場所	種名	回収日	遺伝子検査	監視重点区域 指定状況
矢吹町西長峰 地内	オオハクチ ョウ 1羽	11/14	11/17 陽性 H5 亜型高病 原性	11/17 指定 12/12(24:00) 解除

2 今後の対応

引き続き、注意喚起を呼びかけるとともに、野鳥の監視について継続して行ってまいります。